

魔法瓶保温ポット付き業務用コーヒーマーカー 取扱説明書



コーヒーマーカーレンタル専門店

 笑顔のボタンタッチ
上州物産株式会社

〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL：027-289-6080

FAX：027-289-6166

コーヒーマーカーレンタル専門店ホームページへアクセスする
場合はこちらのQRコードを読み込んでください。



目次

はじめに下記備品が揃っているかご確認ください.....	1
安全上のご注意.....	3
各部の名称とはたらき.....	4
使い方.....	5
クリーニングの方法.....	7
ご注意とお願い.....	8
仕様.....	8
コーヒー用魔法瓶保温ポット：2.5L.....	9
必ずお守りください.....	10
ご注意とお願い.....	11
使い方.....	11
お手入れ.....	14
本体の分解・組立方法.....	15
Q&A.....	18
仕様.....	18
お客様ご相談窓口.....	18
返却時の梱包方法.....	19
梱包時 PP バンドの使用法.....	23

はじめに下記備品が揃っているかご確認ください

- ・ コーヒー用魔法瓶保温ポット：2.5L
- ・ コーヒー粉計量スプーン
- ・ 水計量器
- ・ ファンネル
- ・ コーヒーフィルター：10 枚
- ・ 排水ホース



コーヒー用魔法瓶
保温ポット：2.5L



コーヒー粉計量スプーン



水計量器



ファンネル



コーヒーフィルター：10枚



排水ホース

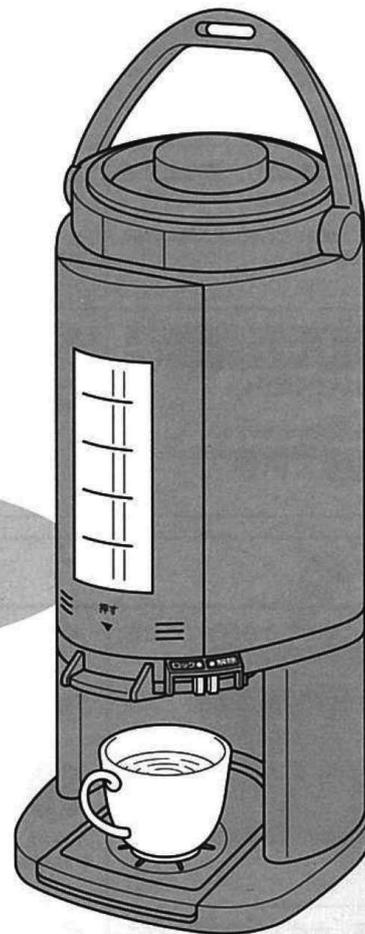
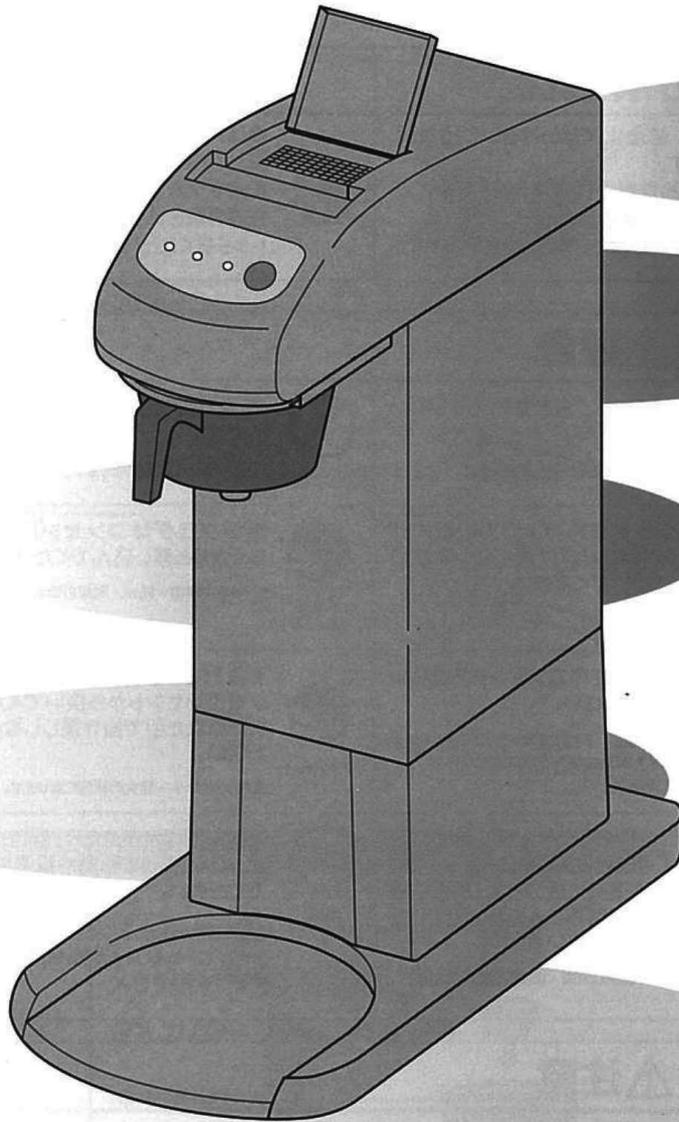
Kalita

カリタ・貯湯タンク式コーヒーマシン ET-450N (AJ)

取扱説明書 (保証書付)

COFFEE MACHINE

ET-450N (AJ)



日本国内専用
Use only in Japan.

この度は、カリタ・コーヒーマシン ET-450N (AJ) をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全上のご注意

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

 注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。	 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
---	--

*物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例		
<p style="text-align: center;">感電注意</p>  <p>△は、注意(警告を含む)を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「感電注意」を示します。</p>	<p style="text-align: center;">分解禁止</p>  <p>○は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「分解禁止」を示します。</p>	<p style="text-align: center;">プラグを抜く</p>  <p>●は、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。</p>

警告		
 <p>禁止 容器(ポット・ファンネル)なしで使わないでください。 熱湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。</p>	 <p>水かけ禁止 水につけたり、水をかけたりしないでください。 ショート・感電・発火の恐れがあります。</p>	 <p>100V以外禁止 交流100V以外では使用しないでください。 火災・感電の原因になります。</p>
 <p>禁止 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しないでください。 ショート・感電・発火の恐れがあります。</p>	 <p>禁止 電源プラグの刃および刃の取付け近くに、ほこりが付着している場合は、よく拭いてください。 火災の原因となります。</p>	 <p>奥まで差し込む 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。 ショート・感電・発火・発煙の恐れがあります。</p>
 <p>接触禁止 蒸気吹出口に触ったり、顔などを近づけないでください。 やけどをすることがあります。特に乳幼児には触らせないようご注意ください。</p>	 <p>コンセントを単独で使用 定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。</p>	 <p>プラグを抜く 手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。またぬれた手で抜き差ししないでください。 感電・ショート・発火の原因になります。</p>
 <p>分解禁止 改造はしないでください。修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理は行わないでください。 火災・感電・ケガの恐れがあります。修理は、お買い上げの販売店またはお近くの「カリタ」にご相談ください。</p>	 <p>禁止 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟みこんだり、加工したりしないでください。 電源コードが破損し火災・感電の原因となります。</p>	 <p>禁止 本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、持って移動や排湯をしないでください。 本体を抱きかかえたり、傾けたり、倒したりすると、シャワー口や給湯口からお湯が流れ出て、やけどをする恐れがあります。</p>

注意		
 <p>冷めてから お手入れは冷めてから行ってください。 高温部に触れ、やけどの恐れがあります。</p>	 <p>禁止 壁や家具の近くでは使用しないでください。 蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色の原因になります。</p>	 <p>禁止 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しないでください。 火災の原因となります。</p>
 <p>プラグを抜く 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。</p>	 <p>プラグをもって抜く 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 感電やショートして発火することがあります。</p>	 <p>接触禁止 使用中や使用後しばらくは高温部に触れないでください。 やけどの恐れがあります。</p>
 <p>禁止 コーヒー粉、水は入れ過ぎないでください。 ポット、ファンネルからコーヒーがあふれ、やけどをする恐れがあります。</p>	 <p>禁止 水タンクに水以外のものを入れないでください。 異常動作することがあります。</p>	 <p>禁止 ガスコンロ等の炎や熱気のある場所に置かないでください。 火災の原因となります。</p>
 <p>禁止 使用中はファンネルやポットを引き出さないでください。 やけどの恐れがあります。</p>	 <p>禁止 ポットを載せたまま本体を動かさないでください。 やけどやけがの原因となります。</p>	 <p>禁止 水のかかる場所や、湿気の多いところでは使わないでください。 火災の原因となります。</p>

各部の名称とはたらき

ET-450N (AJ)

給水口(フィルター付)
フタを開け、ここから給水します。

給水口フタ

注水ランプ
貯湯タンクの水が空のとき、点灯します。

適温ランプ
貯湯タンク内の湯温が適温になると点灯し、抽出 OK をお知らせします。

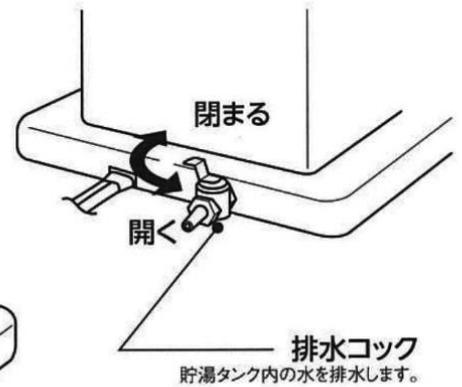
電源ランプ
電源スイッチを押すと点灯します。

電源スイッチ
スイッチを押すと通電 (ON) し、再度押すと OFF になります。

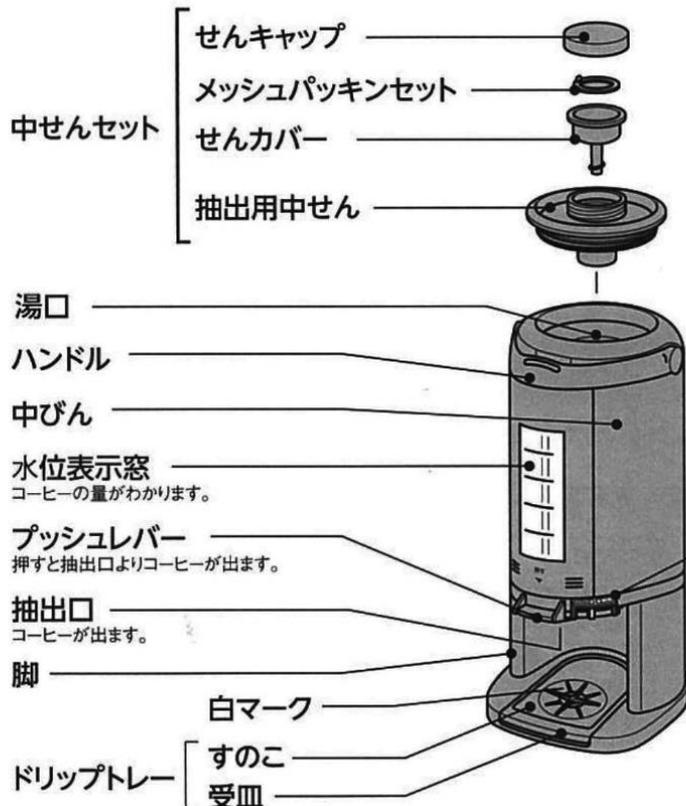
ファンネル
カリタ・立ロシ(直径 25cm)を敷き、コーヒー粉を入れます。

ポット置台
専用ポットを乗せます。

貯湯タンク
本体内部にあります。



SY-AJ25

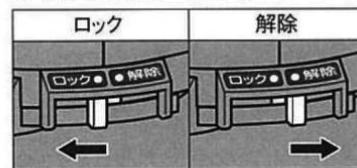


付属品



※ ポットの使い方・分解・お手入れ方法は、ポットに同封されている取扱説明書をよくお読みになってご使用ください。

プッシュレバーロック



プッシュレバーが押せません。

プッシュレバーが押せます。

使い方

お使いになる前に

初めてご使用になるときや、長時間使わないうときは、ファンネル、中せんセット、ポット内部を洗浄してください。

<洗浄方法はクリーニングの仕方をご参照ください>

- 付属品を水洗いし、水気をふき取ります。
- 本体を平らなしっかりした台の上に置きます。

コーヒーを抽出する前に

1. 排水コックレバーを閉じます。

- 本体後ろの排水コックレバーが閉じているのを確認してください。

2. ファンネルを本体にセットします。

- 本体レールに沿って差し込みます。
- 本体に突き当たるまで差し込んでください。

3. ポット置台に専用ポットを乗せます。

- ポットからせんキャップを取り外し、湯口の中心とファンネルの抽出口が合うように正しくセットしてください。
- 水位表示窓を正面に向けてセットしてください。

4. 貯湯タンクを満水にします。

- 給水口に約3.5リットルの水を注ぎます。満水になると、ファンネルから専用ポットに水が流れます。
- ポットにたまった水を捨て、再度ポット置台の上に乗せます。

5. 電源スイッチを押します。

- 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを押すと、電源ランプが点灯します。
- 通電開始後約20分で適温ランプが点灯します。

ご注意

- 電源は必ず AC（单相）100V・15A 以上の専用コンセントをご使用ください。

コーヒーの抽出

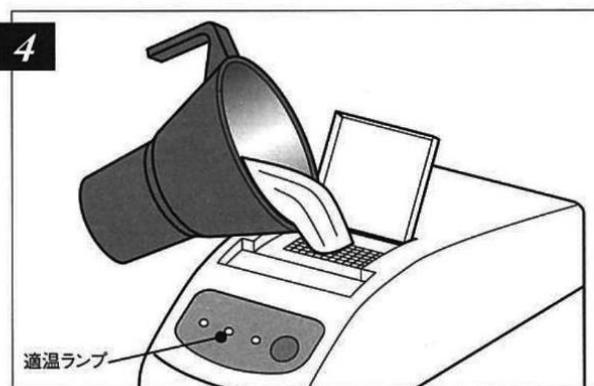
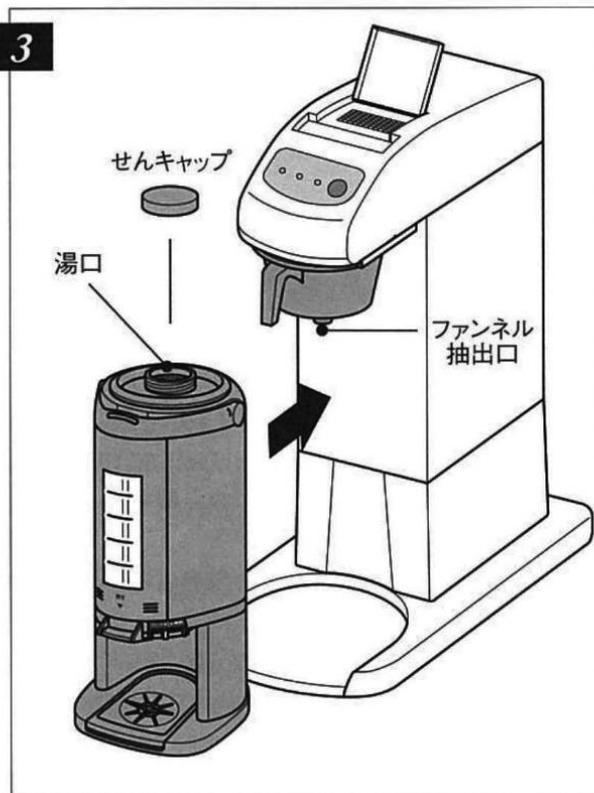
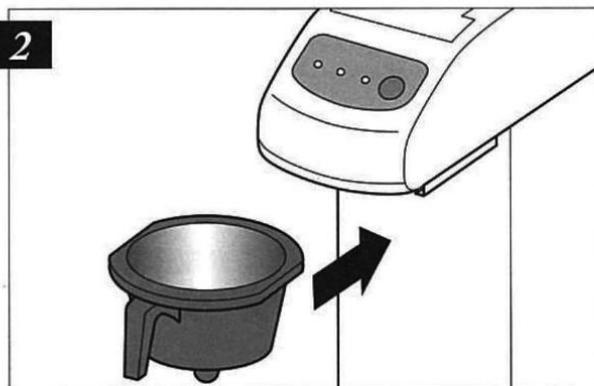
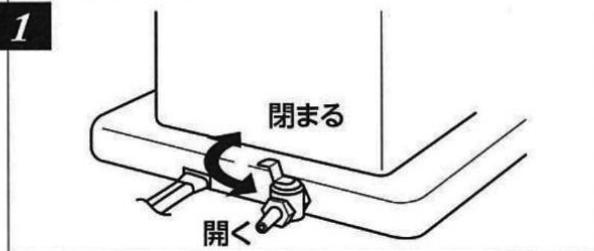
6. ファンネルに立ロシをセットします。

- カリタ・25cm 立てロシをご使用ください。

7. コーヒー粉を入れます。

- 量は下の表をご参照ください。
- 粉を入れたらファンネルを軽く振り、粉がほぼ平らになるようにならしてください。

コーヒー粉の量	給水量	抽出コーヒー量
50g	700ml	約 600ml
75g	1,200ml	約 1,050ml
90g	1,700ml	約 1,500ml



使い方

ご注意

- コーヒー粉の最大使用量は 120g です。120g 以上ですと抽出中のファンネルからコーヒーがあふれ出ることがあります。
- 給水量は 400ml~1,700ml です。給水量が 400ml 以下ですと、抽出終了後に再度シャワーが吹き出す場合があります。

8. ファンネルを本体にセットします。

- 本体レールに沿って差し込みます。
- 本体に突き当たるまで差し込んでください。

9. ポット置台上に専用ポットを乗せます。

- ポットからせんキャップを取り外し、湯口の中心とファンネルの抽出口が合うように正しくセットしてください。
- 水位表示窓を正面に向けてセットしてください。

ご注意

- せんキャップをつけたまま抽出すると、コーヒーが飛び散り、周りを汚したり、やけどの恐れがあります。

10. 適温ランプの点灯を確認してから、給水口に水を注ぎます。

- 水量は 7 の表をご参照ください。
- 給水すると、適温ランプが消えますが、故障ではありません。

ご注意

- ポットの容量は2.5リットルです。コーヒーを抽出する前に必ずポットを空にしてください。
- 抽出中は、水を注ぎ足さないでください。

連続して使用する場合には

- 6 からの操作を繰り返してください。約 13 分間隔で繰り返し抽出できます。

11. シャワーの噴出が始まります。

12. 抽出が終了します。

- 12カップ(約1,440ml)なら、約4分で終了します。

コーヒーを冷まさないために

- ポット内が冷えていると、抽出したコーヒーがぬるくなる場合があります。抽出する前にポットを湯煎してください。

業務終了・閉店する場合は

- 電源スイッチを押して、OFF にします。コンセントから電源プラグを抜いてください。

ポットよりコーヒーを抽出する

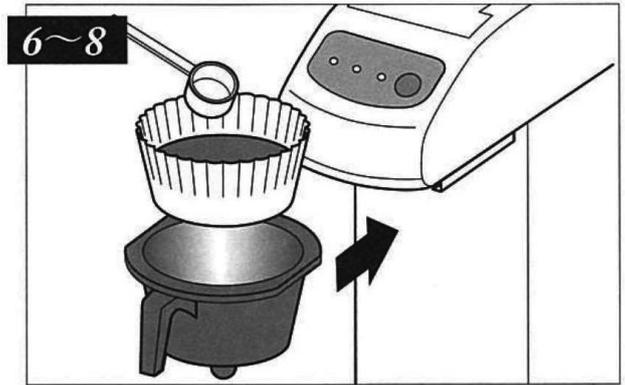
13. ET-450N (AJ) からポットを取り出し、せんキャップを取り付けてください。

- せんキャップを取り付けないと、コーヒーが早くぬるくなります。

14. ポット台の中心にカップを置き、ロックを解除してからプッシュレバーを押してください。

ご注意

- コーヒーを抽出する際は、必ずロックが解除されていることを確認してから抽出してください。
- ポットのお取扱いについては、付属のSY-AJ25の取扱説明書をお読みください。



クリーニングの方法

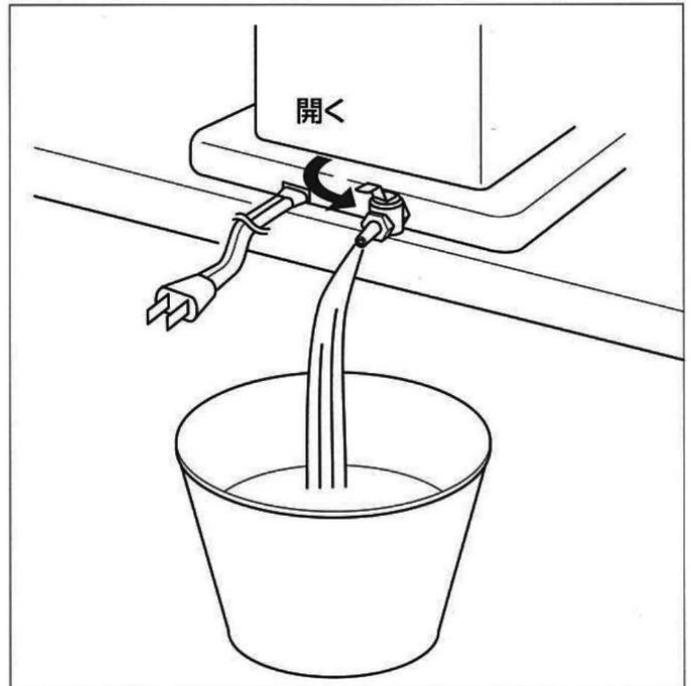
この製品を長くご愛用いただくために、お手入れは定期的に行なってください。

貯湯タンクの排水とお手入れ

ご注意

お湯が冷めていないと、やけどをする恐れがあります。必ず電源を切ってお湯を冷ましてから、排水・お手入れを行なってください。

1. 電源プラグが抜いてあるかを確認します。
2. 排水コックの下にバケツなどを用意します。
 - 排水量は約3リットルです。
3. 排水コックレバーを開きます。
 - 排水コックから勢いよく水(お湯)が出ますので、手足にかからぬようご注意ください。
4. 排水コックレバーを閉じます。
 - 給水口から水を注ぎ、貯湯タンクを再度満水にします。洗浄する場合は、上記を繰り返してください。
 - 洗剤などは入れないでください。

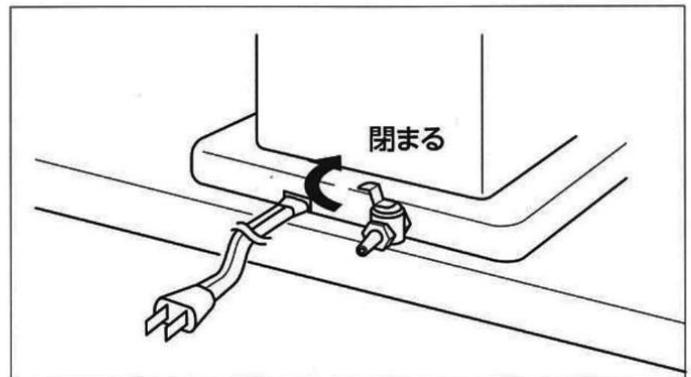


本体外部のお手入れ

中性洗剤を浸し、かたく搾った布で拭いた後、洗剤が残らないようにからぶきをしてください。

ご注意

本体に水をかけたり、ベンジン、シンナー、化学洗剤などを使用しないでください。



ファンネルのお手入れ

中性洗剤を入れた水かぬるま湯を使い、柔らかなスポンジなどで洗ってください。洗剤が残らないよう、よくすすいでください。

ご注意

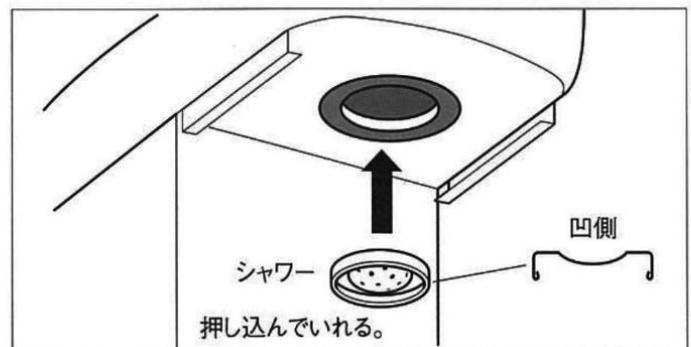
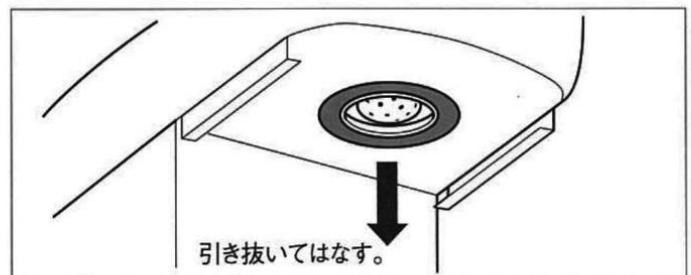
金属製のタワシの使用は傷や変色の原因になります。

シャワー(湯口)のお手入れ

水道水中の無機質などにより、シャワーの穴が目詰まりを起こす場合がありますので、定期的にシャワーを引き抜いて、中性洗剤で洗い流し、再度セットしてください。

ご注意

シャワーをセットする場合は、凹側を上にしてセットしてください。



ご注意とお願い

次のことは必ず守ってください。

1. 必ず正しく配線されたコンセント(電源)をご使用ください。
●フタマタソケットなどを使い、他の電気器具などと同時に使用するのをおやめください。
2. 本体を運ぶときは、必ずポットを外してください。
●落下して破損する場合があります。
3. 本体は熱くなります。使用場所にご注意ください。
●特に熱に弱いプラスチックなどの上では、ご使用しないでください。
4. 給水タンクに水以外のものを入れないでください。
●熱湯・コーヒー・牛乳などを入れると、故障します。
5. ポット置台の上には、専用のポット以外は乗せないでください。
●倒れる場合があります。
6. ご使用中やご使用後、しばらくの間(約 20 分)は、本体に触れないでください。
●シャワー(湯口)から熱湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。
7. ファンネルは抽出が完全に終了してから引き出してください。
●抽出中にファンネルを引き出すと、シャワーの熱湯で、やけどをする恐れがあります。
8. 使用後は必ず、電源スイッチを再度押して OFF にしてください。
●電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグをもってください。
9. 寒冷地で使用する場合は、貯湯タンク内の水が夜間凍結する恐れがありますので、必ず排水してください。
10. 本体に水をかけたり、水洗いをしないでください。
●感電や故障の原因になります。
11. 本体をお手入れする場合。
●本体後ろの排水コックレバーを誤って開かないよう、ご注意ください。熱湯が出るため大変危険です。
12. ポットについて。
●ポットは最大 2.5 リットル入りますが、ポットに中身が残ったまま抽出をすると、ポットからコーヒー等があふれやけどをしたり周りが汚れたりするので、必ずポットの中身を空にしてからご使用ください。
●ポットの取扱説明書は別にありますので、そちらもよくお読みになってご使用ください。

仕様

型 式	ET-450N(AJ)	温度ヒューズ	169℃
定 格	AC100V 845W 50/60Hz	排 水 方 式	排水コック方式
給 水 量	400ml~1,700ml	ポ ッ ト	内容量 2.5L
給 水 方 式	貯湯式	コード有効長	1.9m
能 力	約 60 杯 / 時間	外 形 寸 法	ET-450N: 幅 275×奥行き 453×高さ 690 SY-AJ25: 幅 200×奥行き 230×高さ 435
貯 湯 タ ン ク	ステンレス製 内容量 3L	本 体 質 量	ET-450N: 約 5.9kg 満水時約 8.9kg SY-AJ25: 約 2.3kg 満水時約 4.8kg
沸き上がり時間	初回約 20 分 2 回目以降約 13 分	付 属 品	ポット SY-AJ25、ファンネル 1 コ、 立口シ 25cm、2,000cc 計量カップ
噴 出 温 度	90℃以上		
適 温 表 示	ネオンランプ沸き上がり時点灯		
空焚き防止装置	ダイヤフラム式圧力スイッチ		

取扱説明書

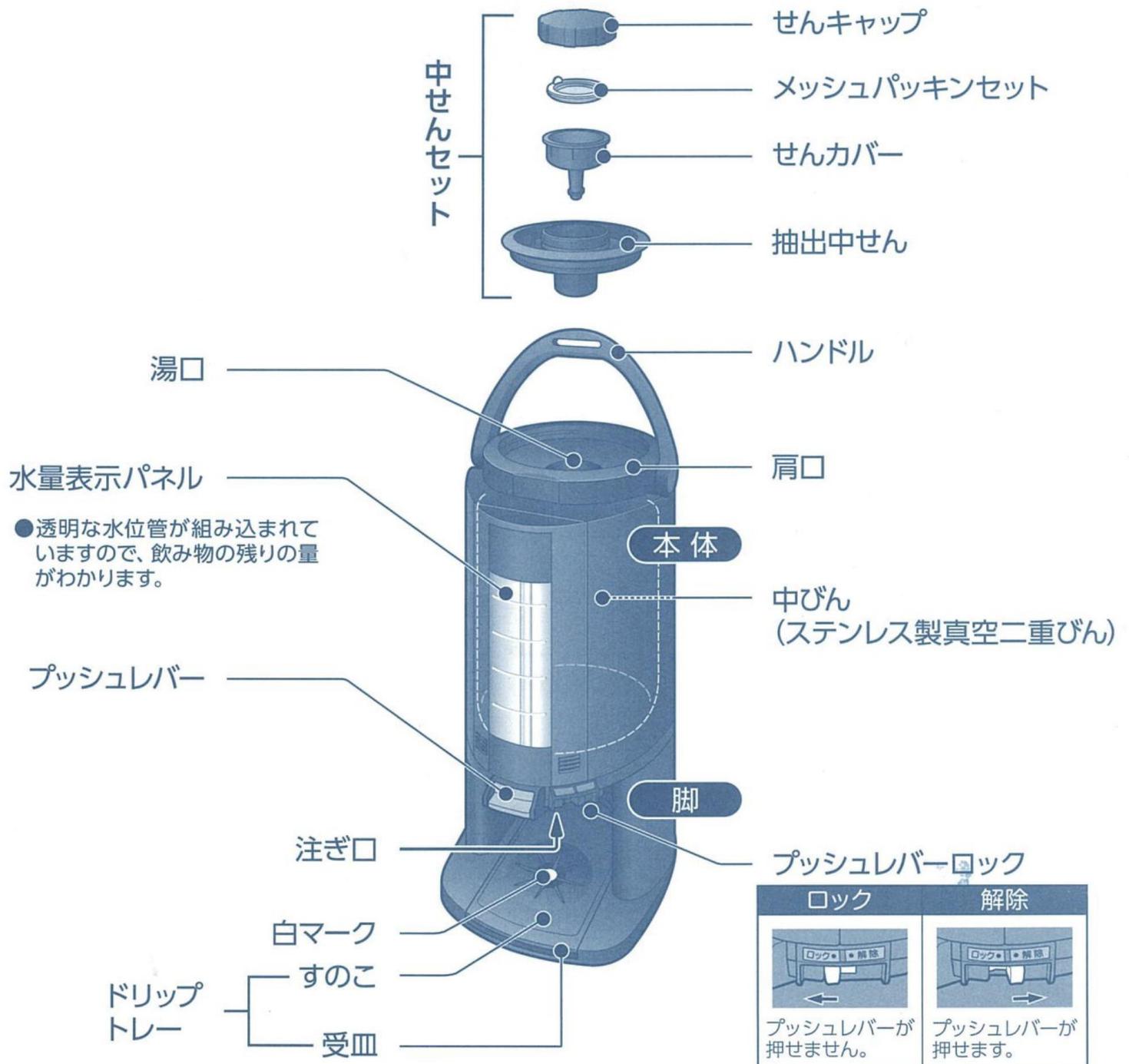
真空ドリンクディスペンサー
SY-AJ25 型

ご使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは大切に保管してください。

●ご使用ごとに各部品がつけられていることをご確認ください。

各部のなまえ



●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●お使いになるときは、やけど・飲み物の変質や変色・製品の故障・汚れなどを防ぐために次のことを必ずお守りください。

乳幼児の手の届くところには置かない また、いたずらには十分注意する

やけど・けがなどの恐れがあります。

お手入れ以外での改造・分解修理はしない

故障・事故の原因になります。

落としたり、ぶついたり、製品に強い衝撃を与えない

樹脂部分が破損したり、中びんがへこみ、保温・保冷力が低下することがあります。

脚をつけた状態で本体を持ち運ぶときは、脚レバーが確実に戻っていることを確認する

けが・破損の恐れがあります。



飲み物の量は図の位置までにする

入れすぎると、中せんセットをつけたときに飲み物があふれる原因になります。



飲み物を入れたときは、横転させない また、横置きにしない

やけど・汚れの原因になります。

中びんに入れる飲み物にはミルク・砂糖は入れない

腐敗・変質・目詰まりして飲み物が漏れる原因になります。

次の物は絶対に入れない

●ドライアイス・炭酸飲料など

本体内の圧力が上がり、中せんセットがはずせなかったり、圧力によっては飲み物がふき出たり、中せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

●牛乳・乳飲料・果汁など

成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、中せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

●みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの

さびたり保温・保冷力が低下する原因になります。

●果肉・お茶の葉など

詰まる・漏れるなど故障の原因になります。

飲み物の保温・保冷以外に使用しない

飲み物を入れての保温・保冷を目的とした製品です。

保温性能が低下した製品は使用しない

熱い飲み物を入れると本体外側が熱くなり、やけどの恐れがあります。

ストーブやコンロなど火気の近くや直射日光のあたる場所で使用しない

変形・変色の原因になります。

直火(ガス台など)や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない

火災・故障の原因になります。

中せんセットは確実につける

転倒したときに飲み物が多く漏れる原因になります。

弁セットのキャップパッキンは必ず弁キャップにつけた状態で使用する

飲み物が漏れてやけど・汚れの原因になります。

飲み物を入れたまま車などに載せての移動はしない やけど・破損・飲み物が漏れる原因になります。

持ち運びの際には次のことを守る

- 必ずハンドルを持って運ぶ
- 傾けたり横にして抱きかかえたりしない
- プッシュレバーに触れない
- せんキャップや抽出中せんを持って運ばない
- プッシュレバーを確実にロックする

やけど・汚れの原因になります。

使用後はすぐに中びんをしっかりと洗う

さび・穴あき(中びん)・故障・腐敗の原因になります。

お手入れの際は次のことを守る

- シンナーやベンジン・金属たわし・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しない
製品を損傷する原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しない
さび・穴あき(中びん)・故障の原因になります。
- 煮沸はしない
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない
傷・さび・変形・故障の原因になります。
- 本体・脚・水量表示パネルの丸洗いはしない
水の浸入・さび・故障・他のものを汚す原因になります。

飲み物はその日のうちに飲みきる

長時間放置すると腐敗や変質の原因になります。また、腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、中せんセットをはずすときに中せんセットが飛んだり、飲み物がふき出たり、中せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

ご注意とお願い

熱いお茶を長時間保温するとお茶の色が変わるため、中びんには湯を入れ、急須やティーバッグなどのご利用をおすすめします。

熱い飲み物を入れるときは、熱いやかんを肩口・湯口に触れさせない

転倒によるやけど・傷・変形の原因になります。

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてから入れる

無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形・故障の原因になります。

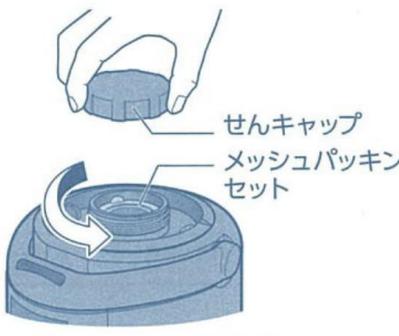
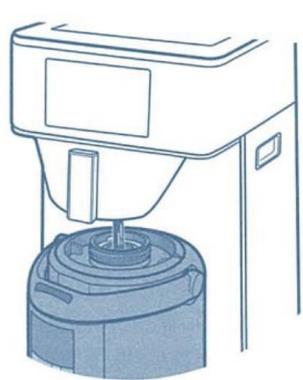
使用後は必ず中せんセット・弁セット・水位管・水位管カバー（上）（下）・下部接続チューブ・ジョイントシールゴムをきれいに洗う

放置しておくと、カビ発生の原因になります。

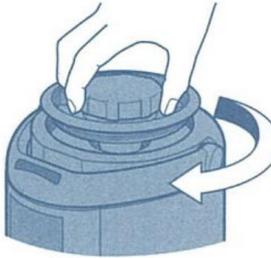
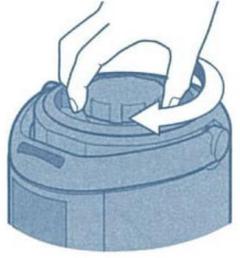
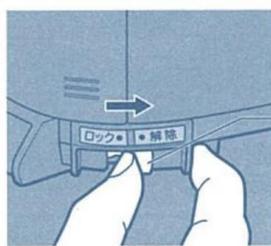
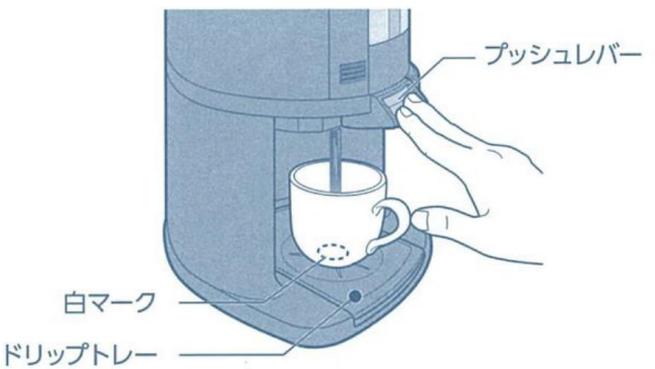
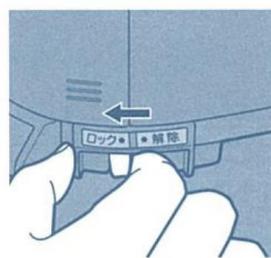
使い方

お使いになる前に中びん・湯口・中せんセット（はずす）をぬるま湯で十分に洗ってください。

使い始めはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用ごとに少なくなります。

	やかんなどで飲み物を入れるとき	ブルーワーでコーヒーを入れるとき
1 中せんセット（せんキャップ）をはずす	抽出中せんを矢印の方向に回して中せんセットをはずします。 	せんキャップを矢印の方向に回してはずします。  <ul style="list-style-type: none"> ●抽出中せんごとはずさないでください。 ●メッシュパッキンセットがついていることを確認してください。（細かいコーヒー粉が入るのを防ぎます。）
2 飲み物を入れる	直接、中びんに飲み物が落ちるように入れます。  <p>point 保温（保冷）の場合はあらかじめ少量の熱湯（冷水）を入れ、1分程度予熱（予冷）したあとで熱い（冷たい）飲み物を入れると保温（保冷）効果が上がります。</p>	抽出中せんを中心にコーヒーが落ちるように入れます。 

使い方 つづき

	やかんなどで飲み物を入れるとき	ブルーワーでコーヒーを入れるとき
3 中せんセット (せんキャップ)を つける	抽出中せんを 矢印の方向に 最後まで回し、 中せんセットを つけます。 	せんキャップを 矢印の方向に 最後まで回し、 つけます。 
4 プッシュレバーを解除する プッシュレバーロックを矢印の方向へ動かし、 解除 に合わせます。	 プッシュレバーロック	
5 プッシュレバーを押して飲み物を注ぐ ドリフトレーの白マークに容器の中央部を 合わせて置き、プッシュレバーを押します。 ●注いでいる間は水位管の圧力が下がり、 水位が動きますが異常ではありません。	 プッシュレバー 白マーク ドリフトレー	
6 プッシュレバーをロックする プッシュレバーロックを矢印の方向へ動かし、 ロック に合わせます。		
7 使用后、ドリフトレーをはずして こぼれた飲み物を捨てる ドリフトレーの受皿前部を持ち上げて矢印の方向に はずします。 すのこをはずして、受け皿にこぼれた飲み物を捨てます。	 ドリフトレー 受皿前部	

使い方 つづき

飲み物の捨て方

使用后、飲み物が残っているときは下記の方法で捨ててください。

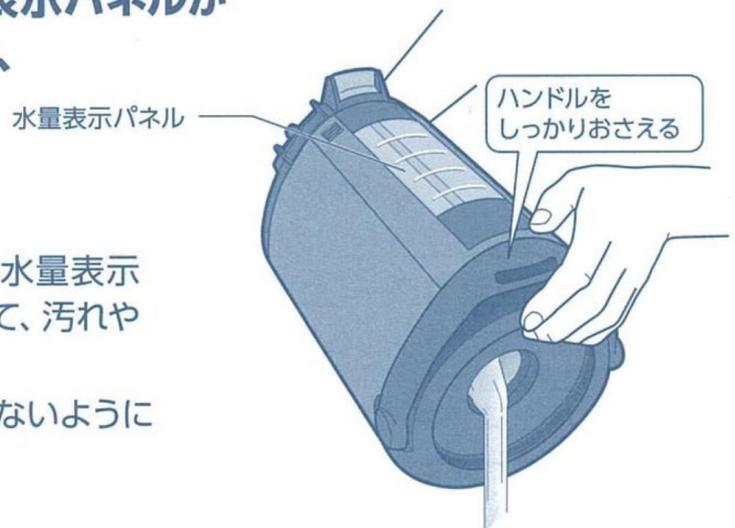
1 本体を脚からはずす

- ①脚背面の脚レバーをつまむ
- ②本体のハンドルを立てた状態で持ち上げる



2 中せんセットをはずし、水量表示パネルが上になるように本体を傾けて、残った飲み物を捨てる

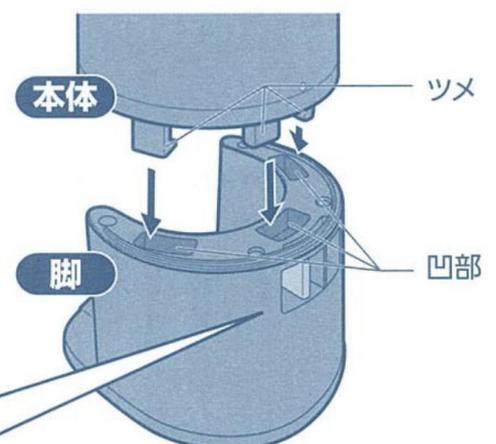
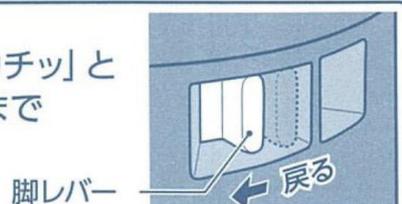
- 別の位置から飲み物を捨てると、水量表示パネルと本体の間に飲み物が入って、汚れや破損の原因になります。
- 残った飲み物や蒸気でやけどをしないように十分ご注意ください。



3 中せんセットをつけ、本体を脚につける

本体底部のツメ (3カ所) と脚の凹部 (3カ所) を合わせて上から差し込む

- 脚背面の脚レバーが「カチッ」と音がして、確実に戻るまで差し込んでください。



お手入れ

●においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にお使いいただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

●必ず分解してからお手入れをしてください。(P.7~8参照)

ハンドル 本体外側	水量表示パネル 脚	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませて汚れをふき取る ②ぬるま湯を柔らかい布に含ませてかたく絞り、ふく
中びん		①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄(え)のついた柔らかいスポンジ ブラシに含ませて軽く洗う ②ぬるま湯を入れ、2~3回すすぎ洗いをする
せんキャップ メッシュパッキンセット せんカバー 抽出中せん	底カバー すのこ 受皿	①台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯に浸し、スポンジで洗う ②水で十分にすすぐ
水位管カバー(上)(下) 水位管 弁キャップ 弁スプリング 弁軸 弁 下部接続チューブ ジョイントシールゴム 止め具		①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジやブラシ小(付属品)に 含ませて洗う ②水で十分にすすぐ ●洗浄中は水位管がすべりやすいため、落とさないように注意してください。 また、ブラシ小を水位管の中に無理に押し込まないでください。 破損や傷・変形の原因になります。 ●下部接続チューブ・ジョイントシールゴムにブラシ小を無理に押し込まないで ください。材質がシリコンゴムのため、破損の原因になります。

- 本体・脚・水量表示パネルは絶対に丸洗いしないでください。
水が侵入し、さびが発生したり他のものを汚したりします。
- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・みがき粉・
クレンザーなどは、使用しないでください。
- お手入れのときには必ずした部品は必ず確実につけてから使用してください。
やけど・破損・飲み物が漏れる原因になります。
- スポンジ・布は柔らかいものを使用してください。 ●煮沸はしないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。 ●食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。



赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより中びん内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、中せんセットをつけずに約30分~1時間置いたあと中びんの内壁をきれいに洗ってからお使いください。(上記「お手入れ」中びん参照)

茶しぶなどのお手入れ

- 中びんにこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗剤 **ピカボトル**」をお使い
ください。(別売品) → 下記「部品の交換・購入について」参照
- ピカボトルをお使いになる場合は、中せんセットを本体からはずしてください。

- 保管するときは、ポリ袋などに入れた状態で箱に入れ、高温・多湿の場所をさけて保管してください。
その際、製品が汚れていないか、よく乾燥しているかを確認してください。

本体の分解・組立方法

- はずした部品は必ず確実につけてから使用して
- ご使用前に中びんに水を入れ、プッシュレバーを

分解方法

1 本体を脚からははずす

- ①脚背面の脚レバーをつまむ
- ②ハンドルを持ち、本体を持ち上げる



2 中せんセット・底カバーをははずす

- ①中せんセットをははずす (P.3参照)
- ②本体を逆さまにして底カバーの両側を矢印の方向へ押しながらか持ち上げる

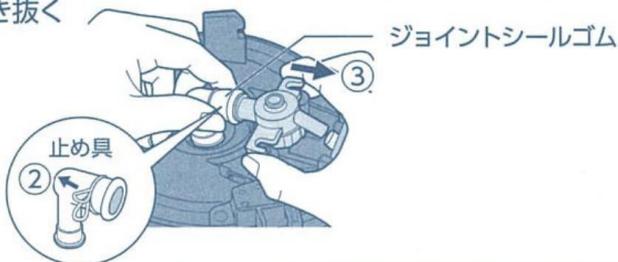


3 弁セットをははずす

- ①下部接続チューブを押さえながら、弁セットを引き抜く

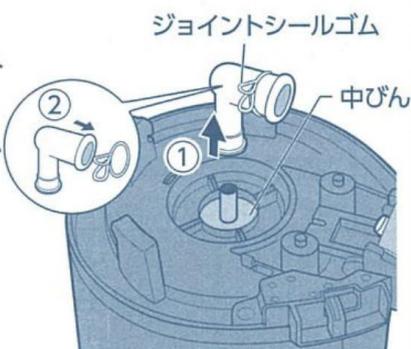


- ②止め具を矢印の方向にずらす
- ③ジョイントシールゴムを押さえながら、弁セットを引き抜く



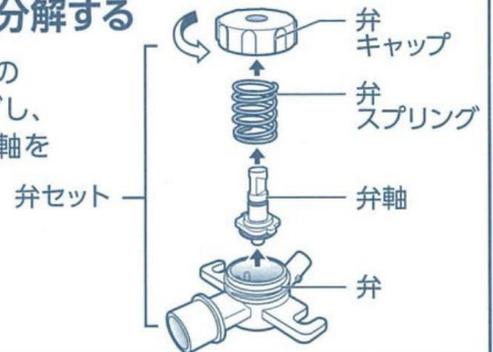
4 ジョイントシールゴム・止め具を中びんからははずす

- ①中びんからジョイントシールゴムをははずす
- ②ジョイントシールゴムから止め具をははずす



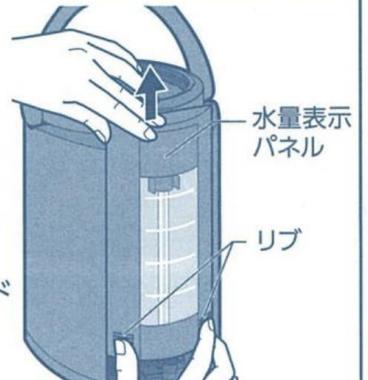
5 弁セットを弁キャップ・弁スプリング・弁軸・弁に分解する

- 弁キャップを矢印の方向に回してはずし、弁スプリング・弁軸を取り出す



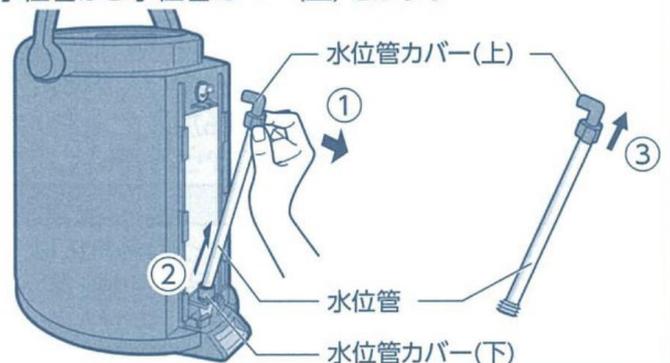
6 水量表示パネルをははずす

- ①本体の向きを元に戻し、ハンドルを立てる
- ②水量表示パネルの上部と下部のリップ(2カ所)を押さえながら上にスライドさせる



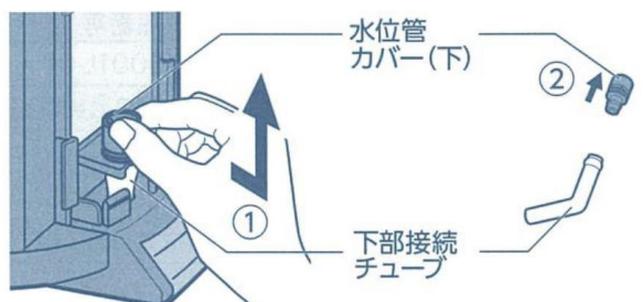
7 水位管・水位管カバー(上)をははずす

- ①水位管カバー(上)を手前に引いてはずす
- ②水位管を持ち上げて水位管カバー(下)からははずす
- ③水位管から水位管カバー(上)をははずす



8 水位管カバー(下)をははずす

- ①水位管カバー(下)・下部接続チューブを矢印の方向に引き抜く
- ②下部接続チューブから水位管カバー(下)をははずす



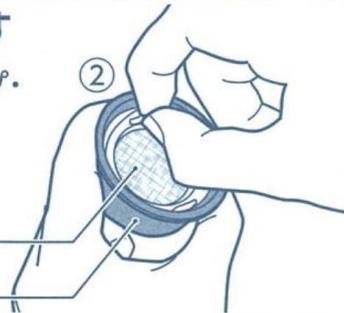
ください。
押し正しく注げるか、漏れてくることがないかを確認してください。

分解方法 つづき

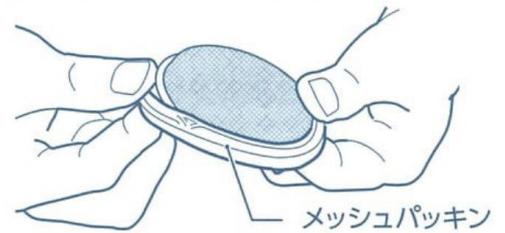
9 メッシュパッキンをははずす

- ①中せんセットからせんキャップ・せんカバーをははずす
- ②メッシュパッキンセットをせんカバーからははずす

メッシュパッキンセット
せんカバー



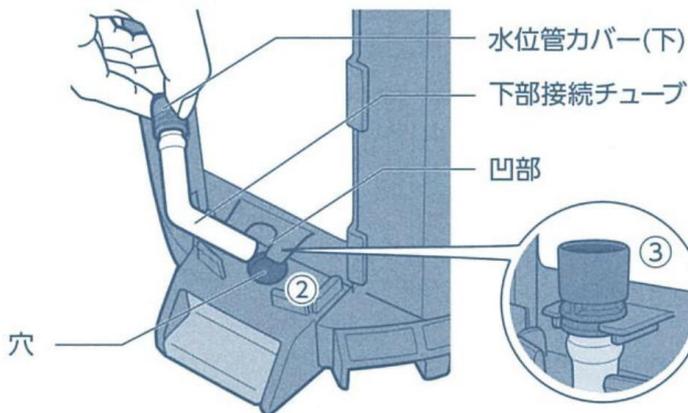
- ③メッシュパッキンをははずす



組立方法

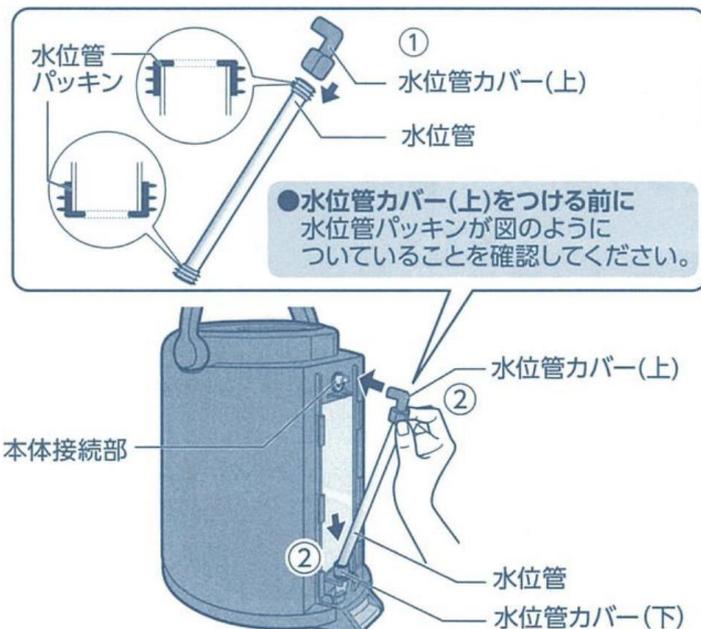
1 水位管カバー(下)をつける

- ①下部接続チューブに水位管カバー(下)をつける
- ②本体正面下部の穴に差し込む
- ③水位管カバー(下)を凹部につける



2 水位管・水位管カバー(上)を本体につける

- ①水位管に水位管カバー(上)をつける
- ②水位管を水位管カバー(下)に差し込んでから、水位管カバー(上)を本体接続部に差し込む

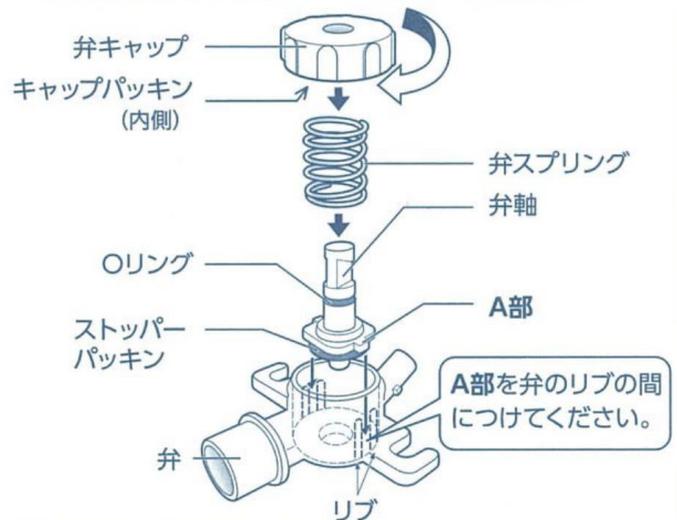


3 水量表示パネルをつける

- 分解方法「6-②」と逆の手順でつけてください。

4 弁セットを組み立てる

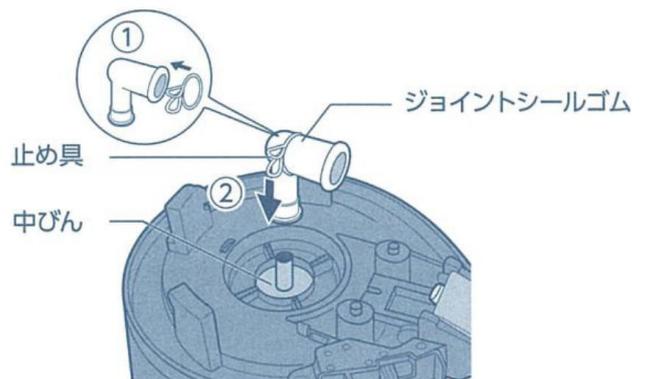
弁に弁軸・弁スプリングをつけて、弁キャップを矢印の方向に最後まで回してしっかり閉める



- 弁軸にストッパーパッキンとOリングが、弁キャップにはキャップパッキンがついていることを確認してください。

5 ジョイントシールゴムを中びんにつける

- ①止め具をジョイントシールゴムにつける
- ②本体を逆さまにして中びんにジョイントシールゴムをつける

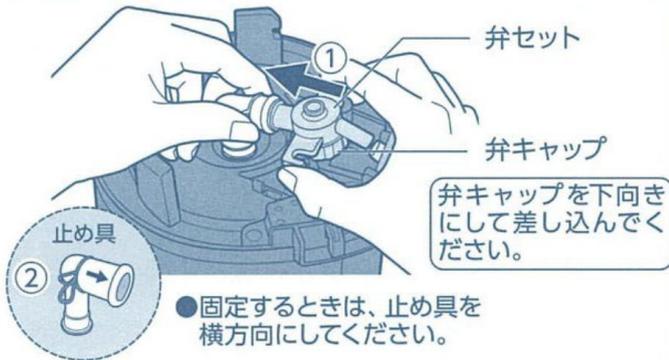


本体の分解・組立方法

組立方法 つづき

6 弁セットをジョイントシールゴムに差し込む

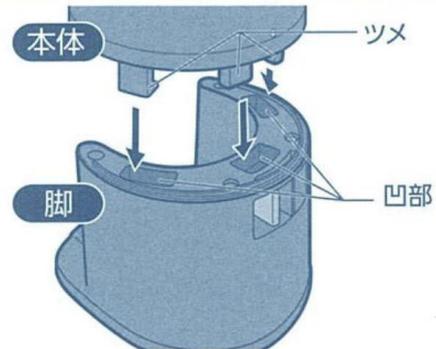
- ① 4で組み立てた弁セットをジョイントシールゴムに差し込む
- ② 止め具を矢印の方向にずらして固定する



9 本体を脚につける

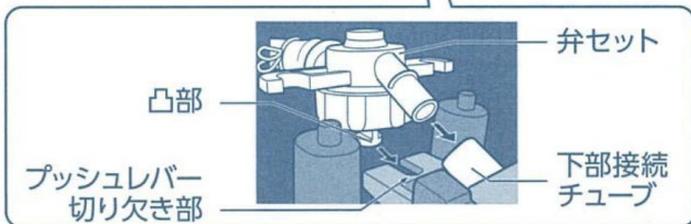
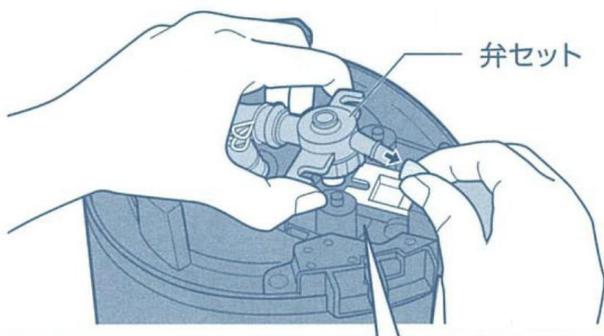
本体の向きを元に戻し、本体底部のツメ(3カ所)と、脚の凹部(3カ所)を合わせて上から差し込む

- 脚背面の脚レバーが「カチッ」と音がして、確実に戻るまで差し込んでください。



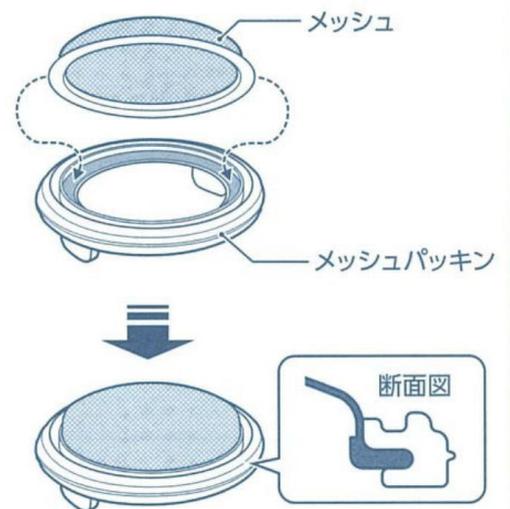
7 下部接続チューブに弁セットを差し込む

弁セットの凸部をプッシュレバー切り欠き部に合わせた状態で、下部接続チューブに差し込む

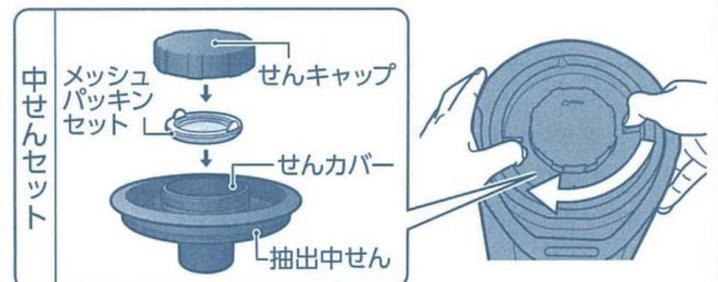


10 中せんセットをつける

- ① メッシュにメッシュパッキンをつける

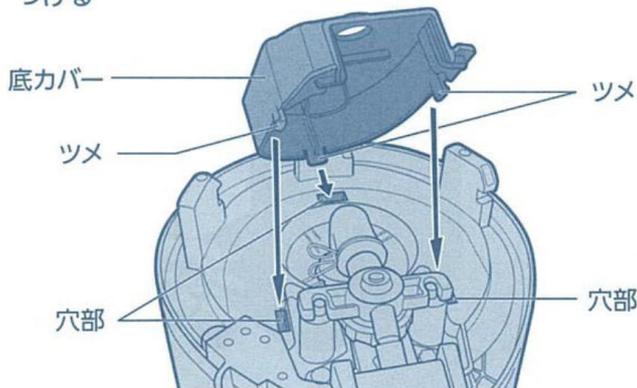


- ② メッシュパッキンセットをせんカバーにつけ、せんキャップをつける
- ③ 中せんセットを矢印の方向に最後まで回し、つける



8 底カバーをつける

底カバーのツメ (3カ所) を本体穴部 (3カ所) に合わせ、つける



11 本体に水を入れ、プッシュレバーを押して、正しく注げるか、漏れてくることがないかを確認する

Q&A

症状	原因	処置
保温(保冷)が効かない	中せんセットが確実に閉まっていますか?	確実に閉めてください。
	十分に熱い(冷たい)飲み物を入れて いますか?	十分に熱い(冷たい)飲み物を正しい位置まで入れて ください。予熱(予冷)をするとより効果的です。
飲み物が出ない	水位管・弁セットを確実につけていますか?	確実につけてください。(P.8~9参照)
飲み物が漏れる	水位管・弁セットを確実につけていますか?	
	弁キャップが緩んでいませんか?	
飲み物の出る量が少なくな った	弁セットにコーヒー粉がたまっていますか?	弁セットを洗い、コーヒー粉を取りのぞいてください。
	飲み物が少なくありませんか?	飲み物の残りの量が少なくなると、出る量が少なくな ります。
抽出中せんから飲み物が あふれる	水位管・弁セットが汚れていませんか?	お手入れしてください。直らない場合はプッシュ レバーと弁セットに破損がないか点検してください。
	メッシュパッキンセットにコーヒー粉が ついていませんか?	メッシュパッキンセットを洗い、コーヒー粉を取り のぞいてください。
製品をふると「シャカシャカ」 という音がする	飲み物を入れすぎていませんか?	正しい量にしてください。(P.2参照)
	保温(保冷)効果を高めるために、中びんに入れている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。 異常ではありません。	

いずれの場合にもあてはまらない場合は、品番とともに買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口までご連絡ください。

仕様

品番	SY-AJ25	
実容量	2.5L	
保温効力	10時間	76度以上
保冷効力	10時間	8度以下

■保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯を中せん下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから10時間放置した場合におけるその湯の温度。

■保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水を中せん下端まで満たし、縦置きにした状態で水の温度が4度±1度のときから10時間放置した場合におけるその水の温度。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まず買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター



0120-345135

※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

●一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話での
お問い合わせ.....TEL (06) 6356-2451 (有料)

●FAXでのお問い合わせ.....FAX (06) 6356-6143 (有料)
製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・
FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

■ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ <http://www.zojirushi-de-shopping.com/>

返却時の梱包方法

梱包準備

1



- ・ファンネルの中に残っているコーヒー粉、コーヒーフィルターを捨ててください。

2



- ・ドレンコック（排水コック）を開けて、貯水タンク内に入っているお湯を空にしてください。
- ※排水する際には、必ず排水ホースを取り付け、バンドで止めてください。使用直後だと90℃以上の熱いお湯が出てくるので危険です。

3



- ・貯水タンクが空になったら、排水ホースを取り外してください。

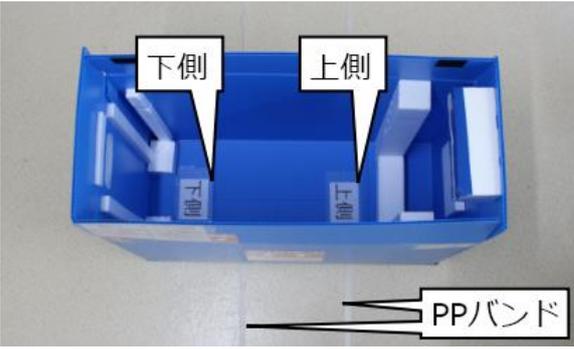
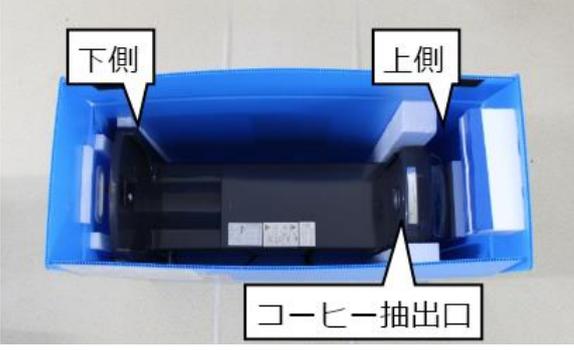
4

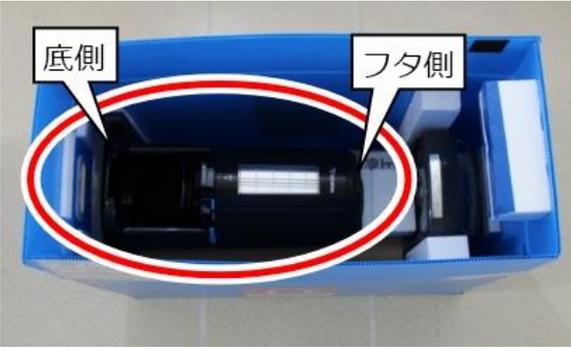
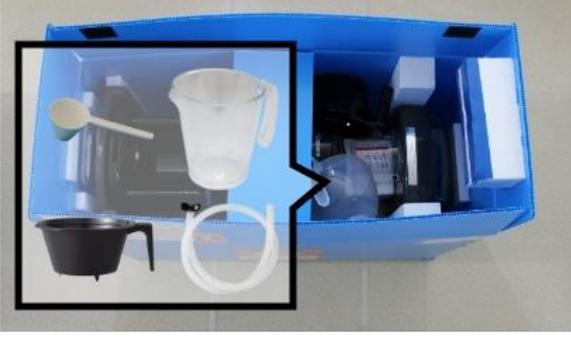


- ・コーヒー用魔法瓶保温ポット：2.5L を空にしてください。

5		<ul style="list-style-type: none"> ・フタを閉めてください。
6		<ul style="list-style-type: none"> ・ドリフトレー（すのこ&受皿）を コーヒー用魔法瓶保温ポット：2.5L にセットしてください。

梱包手順

7		<ul style="list-style-type: none"> ・地面にPPバンドを2本ひき、その上 に外箱をのせてください。
8		<ul style="list-style-type: none"> ・魔法瓶保温ポット付き業務用コーヒ メーカーを箱の中に入れてください。 その際、コーヒー抽出口が上側にく るようにしてください。
9		<ul style="list-style-type: none"> ・保護段ボールを魔法瓶保温ポット付 業務用コーヒメーカーに被せてくだ さい。上側と記載されている部分がコ ーヒー抽出口側にくるようにしてく ださい。 

10		<ul style="list-style-type: none"> ・ コーヒー用魔法瓶保温ポット：2.5L を中央に入れてください。その際には、保温ポットのフタ側、底側が写真の位置にくるようにしてください。
11		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上から保護用カバーを被せてください。 
12		<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記備品を箱の中に入れてください。 <ul style="list-style-type: none"> － コーヒー粉計量スプーン － 水計量器 － ファンネル － 排水ホース
13		<ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱説明書を箱の中に入れてください。
14		<ul style="list-style-type: none"> ・ 箱を閉めPPバンドでとめてください。 <p>※PPバンドのとめ方は、取扱説明書の最終ページにある「梱包時PPバンドの使用方法」をご確認ください。</p>

- 15 ▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。
返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。
梱包の箱に貼り付けてあります。

お届け時の伝票の下にある赤い伝票が
返却用の伝票です。



梱包時 PP バンドの使用法

①



輪をつくる。

②



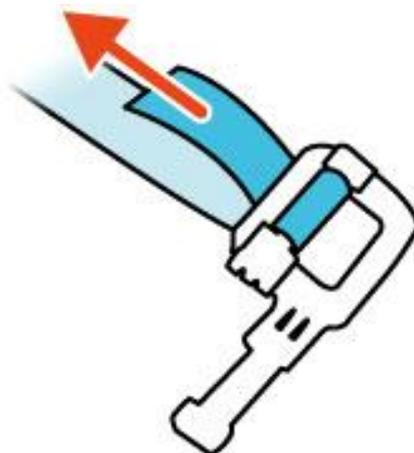
つくった輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方のバンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、しっかり締める。